

事務事業評価シート

(H.28)No.	6018	(H.27)No.	6018
-----------	------	-----------	------

事務事業名	個人情報保護審査事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
市民部	市民相談室	福永 ひとみ	

会計区分	事業コード	024302
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 総務費	情報公開推進事業	
項 総務管理費	(小事業名)	
目 情報公開推進費	個人情報保護審査事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	5	新しい時代を拓く自立と協働による地域経営
	基本施策	1	協働のまちづくり
	施策	2	開かれた市政
	小施策	1	情報公開の推進
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
実施機関が保有する個人情報の正確かつ厳格な管理を行うことを目的とするとともに、自己の個人情報のコントロール権を明らかにすることにより、個人の権利利益を保護することをめざす。
事業内容
<ul style="list-style-type: none"> 平成15年7月1日施行の名張市個人情報保護条例に基づく、実施機関の個人情報保護に係る管理・運用を実施。また処分に対する不服申立てによる審査を実施。 個人情報保護審査会を設置(委員5名、任期2年間)。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
		<計画> ・個人情報保護審査会開催予定回数:5回 委員報酬 56千円 費用弁償 30千円 需用費 6千円	<計画> ・個人情報保護審査会開催予定回数:4回 委員報酬 140千円 費用弁償 70千円 需用費 21千円	<計画> ・個人情報保護審査会開催予定回数:4回 委員報酬 140千円 費用弁償 70千円 需用費 20千円	<計画> ・個人情報保護審査会開催予定回数:4回 委員報酬 140千円 費用弁償 70千円 需用費 20千円

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費	92千円	231千円	230千円	230千円	230千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 92	231	230	230	230
人工数					
職員	0.81人	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人
臨時職員等	0.20人	0.20人	0.20人	0.20人	0.20人
②概算人件費	(0千円) 6,496千円	2,620千円	2,620千円	2,620千円	2,620千円
①+②総事業費	(0千円) 6,588千円	2,851千円	2,850千円	2,850千円	2,850千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
不服申立てに対する迅速な審理を目指していく必要がある。特定個人情報保護評価との整合が必要である。	情報公開審査会との一層の強調連携を図る必要がある。個人情報保護評価面からの機能強化が必要である。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	個人情報の適切な取り扱いを確保し、市民の知る権利と情報公開制度に役立っている。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
個人情報の適切な取扱を担保することにより、市民の知る権利と情報公開制度を維持する必要がある。	